



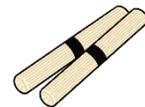
防災キャンプ



8月30、31日に第8回防災キャンプが、2年ぶりに三木町総合運動公園内のゆーぱる三木で行われました。初日は、防災時の避難所用簡易間仕切りとしてのダンボールハウスづくりをしました。子どもたちは、グループに分かれて工夫しながらオリジナルのダンボールハウスを作成していました。夕食は、子どもたちが野菜を切ったりピーラーで皮をむいたりして、みんなでカレー作りをしました。夕食後はファンタジーさんの読み聞かせがあり、楽しいお話に子どもたちも聞き入っていました。2日目はラジオ体操で始まり、おやじおふくろの会手づくりの流しソーメンの朝食後は、B&Gのプールで着衣泳を体験しました。子どもたちは、おやじ・おふくろの会の皆さんにいろいろな企画運営をしていただき、楽しく体験活動を行う中で、防災について学ぶことができました。



小麦プロジェクト



3年生は、総合的な学習の時間で、白山小学校で作っている幻の県産小麦（農林26号）について、サポーターさんからお話をお聞きました。小麦プロジェクトは、5年前に立ち上げ、貴重な小麦を増やし、商品化することで地域の活性化にも繋がる取組です。子どもたちは、自分たちの関わった小麦が商品化されることを知って、愛着を持ち、デザイナーさんと農林26号の小麦で作ったそうめんのパッケージについて考えています。三木町を豊かにするプロジェクトに関わることができ、子どもたちも未来に向けて取り組んでいます。





緑化活動



8月30日に、PTA緑化活動が行われました。緑化活動には、児童、保護者、教職員、三木中学校のボランティア、また地域の老人会の方々のご協力をいただきました。暑い中、朝早くからの時間にも関わらず、たくさんの方にご参加いただきありがとうございます。とてもきれいになった校庭に児童の笑顔も溢れていました。



うまいもん出前授業



5年生は、うまいもん出前授業で、香川県のブランド米「おいでまい」について、香川県産品振興課の方や講師の方からお米のクイズを交えながら、お話をお聞きしました。お話の後には「こしひかり」と「おいでまい」の食べ比べもしました。ご飯が炊き上がると、早速、お米の香りや食感をゆっくり味わいながら試食をしました。子どもたちからは、こしひかりとの違いを感じながら、おいでまいは「つぶがたってる」「あまみがある」「家でも食べてみたい」などいろいろな感想が聞かれました。出前授業を通じて香川県産「おいでまい」の特徴や魅力を知ることができました。



第2回学校運営協議会

7月14日に第2回学校運営協議会が開かれました。協議会では、三部会の取り組みや校長から学校の取り組みについて説明があり、これからの活動についても承認されました。

